

## 平成 28 年度長野県図書館協会定期総会議事録

13:30 開会

### 1 開 会

阿部智史 常務理事・県立長野図書館企画協力課長

### 2 あいさつ 牛山圭吾 会長

最近、学校教育や生涯学習について話題にする時、アクティブ・ラーニングという言葉が使われる。大学教育で使われ始めた言葉であるが、これからは小学校でも取り入れられていくと思われる。

これは、教員による一方的な講義形式の授業から、能動的な学習イベントにシフトしていくことであり、具体的には、発見・問題解決のためのグループ学習やディベートを行うことなどで、計画的な伝達形式の学習から、子どもたちが受け身ではなく主体的に学ぶことである。

これらの状況の変化へ対応していくには、これから公共図書館の役割が大きく関わってくるだろう。

長野県内の図書館は、全国に先駆けた活動を多く行っているが、今後も様々なニーズに応えていくことになる。

学校図書館では従来の資料の提供という役割から、子どもたちが自ら必要な情報を取り出し収集できる情報活用能力が求められることになる。図書館協会では学校図書館が情報センターとしての機能を果たしていけるよう新たな講座を設けていきたい。

また、地域では読書ボランティアの活動が重要視されており、これらの支援のための講座も予定している。

図書館協会では地域史料をデジタル化したアーカイブの作成・公開を継続的に行っているが、県民総学習の時代を見据えて、情報提供が容易にできるよう協会も力を尽くしていきたい。

### 3 総会成立の確認 阿部県立長野図書館企画協力課長

総会は規約第 19 条により総会出席資格者の 10 分の 1 以上の出席により成立となります。

本日の出席者数が 38 名、委任状提出が 658 名で合計 696 名、会員総数 711 名の 10 分の 1 を満たし、総会は成立することを報告。

### 4 議長選出

事務局案として市立小諸図書館館長の森泉浩行氏を提案、拍手多数を持って選出された。

### 5 議事

#### (1) 第 1 号議案 役員の承認

提案：宮下副会長

異動等により役員を交替しています。

公共図書館部会長に春原一男長野市立南部図書館長、小中学校図書館部会長に和田敦長野市立安茂里小学校長、公共図書館副部会長に上條憲治山形村図書館長、小中学校部会副部会長に鈴木明長野市立篠ノ井東小学校長、監事に信濃今教育会の北田愛治氏を提案。

質疑なく第1号議案は、拍手をもって承認された。

(2) 第2号議案 H27年度事業報告

報告：宮下副会長、和田小中学校図書館部会長

(3) 第3号議案 H27年度歳入歳出決算報告、

報告：宮下副会長、和田小中学校図書館部会長

監査報告：湯原監事から報告

質疑・意見なく第2号議案・第3号議案は、拍手を持って承認された。

(4) 第4号議案 H28年度事業計画（案）

提案：宮下副会長

定期総会会議次第 P10、II-1 第66回長野県図書館大会を、平成28年11月12日に訂正する。

(5) 第5号議案 H28年度歳入歳出予算（案）

提案：宮下副会長

議長が質疑・意見を求めたところ、

河原節子会員（長野市立中条小学校長）から第4号議案「H28年度事業計画（案）」として、長野県図書館大会の開催記述があるが、H29年度に開催される北信越地区学校図書館研究大会について、今年度の事業計画案の中にも、H29年度の大会を図書館協会として研究等の推進・支援を行う旨加えてほしいとの要望があった。

事務局の宮下副会長からは、H29年度の同大会については、図書館振興財団の助成事業として進める学校図書館の機能高度化事業の中に位置づけてあり、その中で支援していくことで了解いただきたい旨説明があった。

また、牛山会長からは北信越地区学校図書館研究大会は、全国学校図書館協議会の地区大会であり、本県では小中学校図書館部会が主体となって行うものであること、図書館協会は通常開催の県図書館大会を主に進めるものであることの説明があった。河原会員からは、県としてのバックアップの意思を文面として加えてほしい旨の要望が再度あった。

ここで、議長から第6号議案として北信越地区学校図書館研究大会の開催地についての議案が提出されているので、議題として併せて説明を求める旨の発言があった。

(6) 第6号議案 平成29年度（第67回）長野県図書館大会

提案：宮下事務局長 長野市で開催すること、北信越地区学校図書館研究大会は全国学校図書館協議会が主催となる旨説明。

森泉議長から平成28年度事業計画の中に、H29年度に向けて県がバックアップする旨の一文を加えれば良いのではないかと提案があった。

次に平賀理事長から、北信地区の小中学校部会会議で、北信越大会についての話題が出なかったと聞いているが、小中学校図書館部会としての意思はどうか、どのように進めていくつもりなのか確認したい旨発言があった。

これに対して和田小中学校図書館部会長から、すでに先日の図書館大会企画運営委員会で、運営体制についてはある程度つめてあるので、あとは内容をどうするかの問題であり、平成28年度の事業計画に北信越大会への支援について記載を加える必要はないと思っている旨発言があった。

次に河原会員から、小中学校図書館部会としては組織を整えて各事業に取り組んでいく意思のあること、ただし、北信越大会についてはH29年度に向けて長野県として力を入れて進めていくことを文面で記載してほしい旨改めて要望があった。森泉議長からは文面に記載できなくとも、実際には29年度開催に向けて図書館協会としても関わっていくことなので、口頭で説明してもらう形でもよいのではないか発言があった。

これに対して牛山会長から、別添の「H28年度 図書館振興財団助成事業実施計画書」の【4】長野市の研究授業（案）の中に、北信越地区学校図書館研究大会開催の記載があるので、この項に「H29年度に向けて支援していく」旨を加えたいと提案、宮下副会長からも同趣旨の発言があった。

この提案を受けて議長が出席者に意見等を求めたが特に発言がなかったため、第4号議案・第5号議案・第6号議案について一括して承認を求めたところ、拍手を持って承認された。

## 6 議長退任

## 7 その他 なし

## 8 閉会（平賀理事長）

これまでは図書館協会や県立長野図書館は、事業を毎年同じように継続してくれば問題はなかったのだと思う。今、図書館を巡る状況は大きく変わろうとしており、各組織のあり方や役割、これからの方向性などについて議論していかなければならない時期である。図書館協会や県立図書館に対して日常的に相談や問題提起していただき、皆で議論をしていきたい旨閉会のあいさつ。

14：45分閉会。